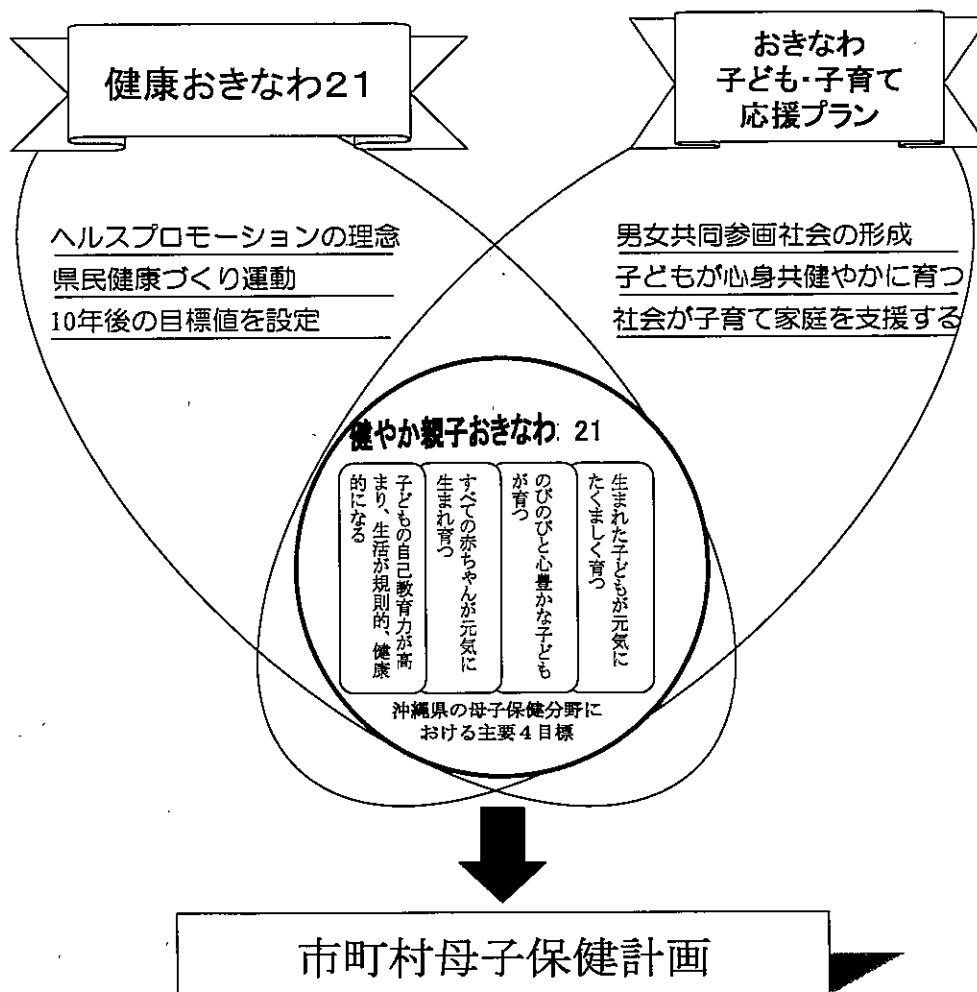


Ⅱ 「健やか親子おきなわ21」 報告書

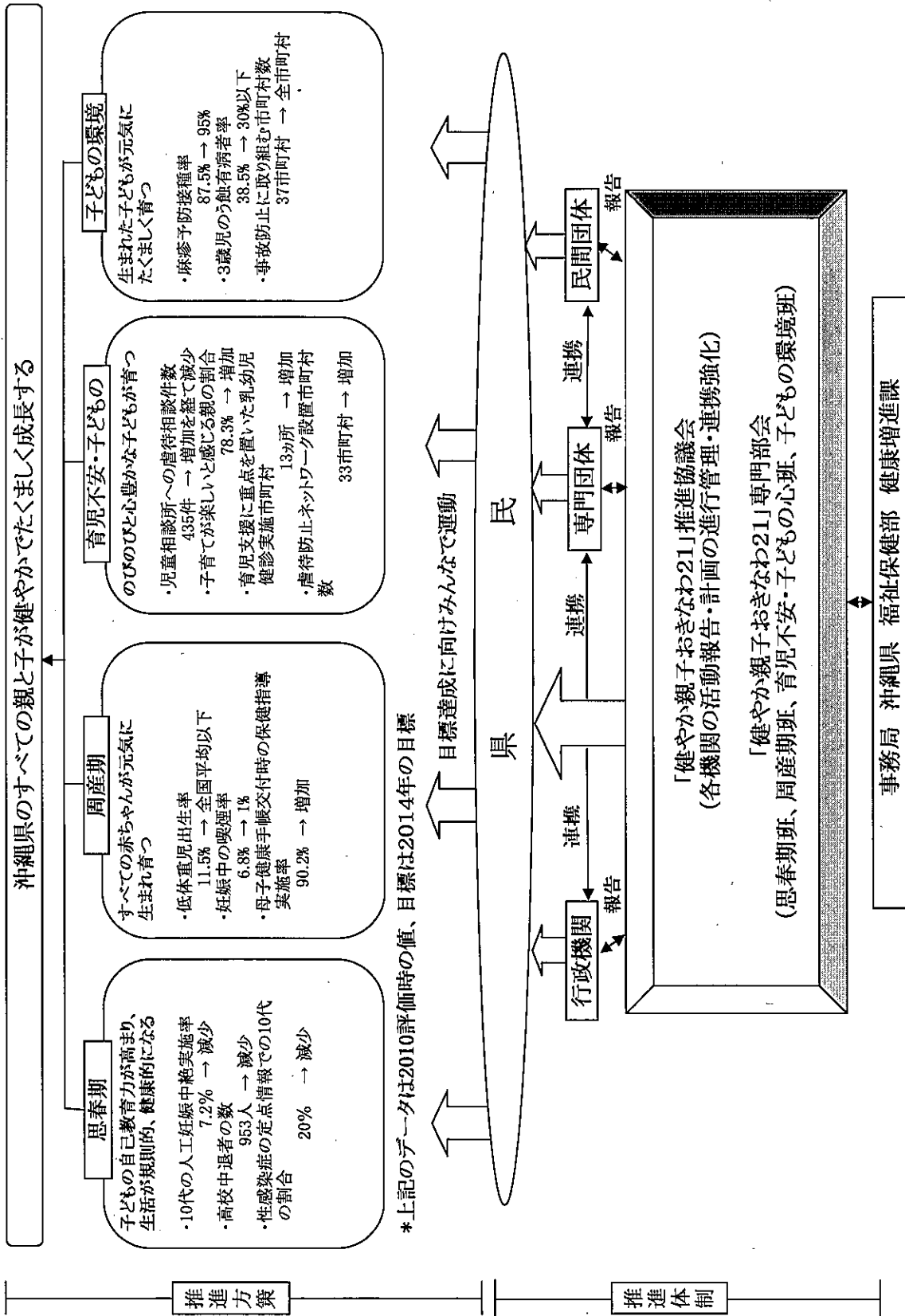
1. 計画の位置づけ

この計画は、21世紀における本県の母子保健の方向性を示したビジョンであり、活動の目標や基本理念は、「健康おきなわ21」や「おきなわ子ども・子育て応援プラン」の一翼を担っている。本県の母子保健の向上を図るために、専門機関・関係団体の取り組みと連携しながら進めていく「沖縄県母子保健計画」とする。

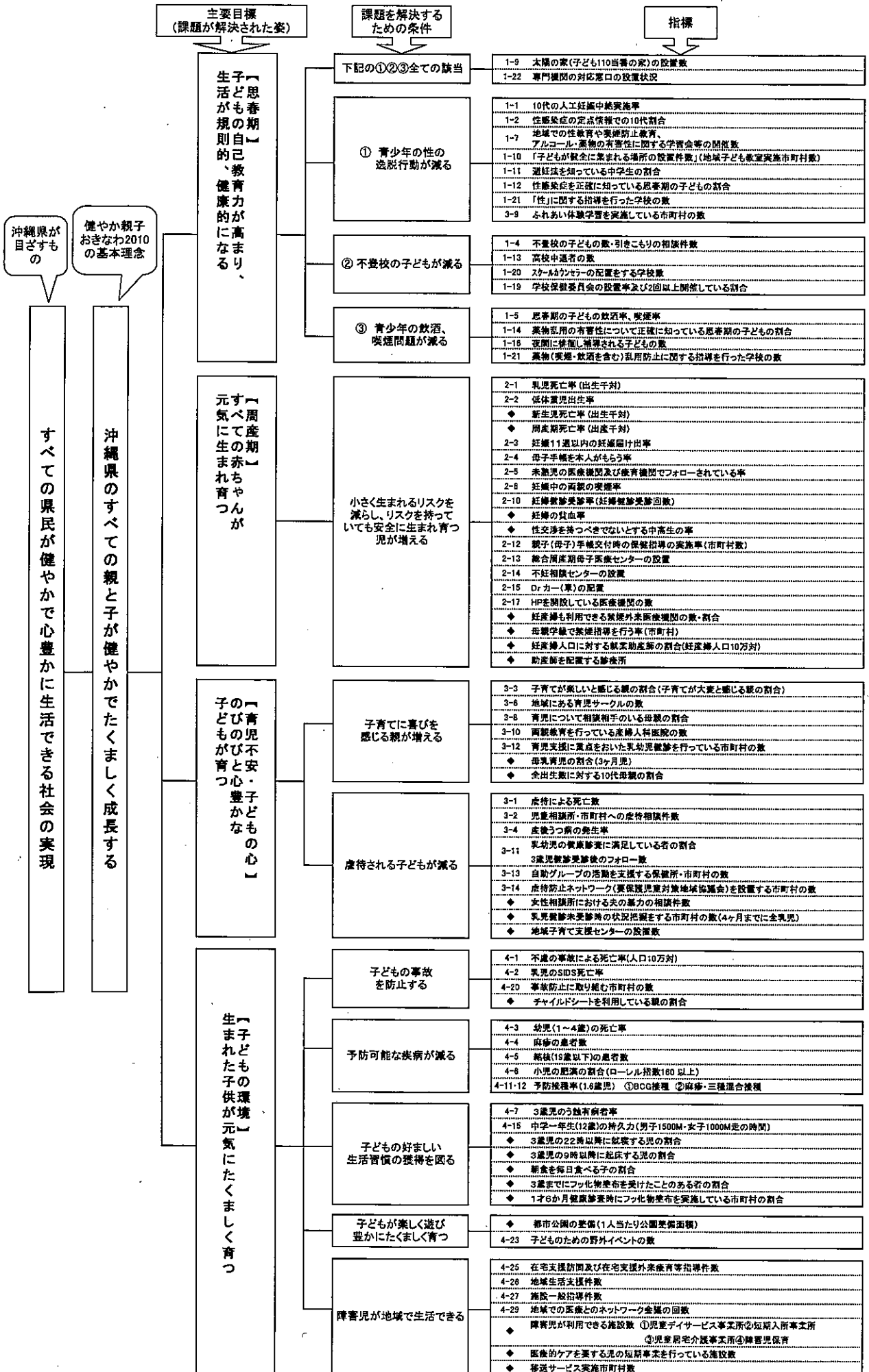
また、市町村においては、市町村母子保健計画の見直しなどを行う場合には、「健やか親子おきなわ21」の趣旨を踏まえ、住民参加のもと関係機関・団体の協力を得つつ進めていくことが望ましい。







2. 「健やか親子おきなわ21」の推進体制



3.計画の体系



4. 指標数の推移及び指標の達成状況

2000年(平成12年) - ベースライン -  2006年(平成17年) - 中間評価 -  2010年(平成22年) - 健やか親子おきなわ2010評価 -  延長  2014年(平成26年)

中間評価

平成22年度評価

○指標数の推移

(表2-1)

	中間評価				平成22年度評価				
	策定時	修正	削除	追加	中間評価後	修正	移動	削除	2010評価
思春期班	22	6	3	2	21	2	+1	4	18
周産期班	21	0	7	8	22	5	0	1	21
育児不安・子供の心班	14	0	0	5	19	3	-1	3	15
子供の環境班	29	3	14	10	25	0	0	0	25
計	86	9	24	25	87	10	1	8	79

○直近値による主要目標の達成状況

(表2-2)

主要目標	評価対象の指標数	改善した指標の割合	改善した指標数				悪化又は変化なしの指標数	比較困難	把握なし
			計	ベースラインより改善	中間評価より改善	ベースライン及び中間評価より改善			
(思春期班) 1. 子どもの自己教育力が高まり、生活が規則的、健康的になる	14	71.4%	10	0	2	8	4	3	1
保健水準の指標	4	75.0%	3	—	—	3	1	—	—
住民自らの行動の指標	5	60.0%	3	—	—	3	2	2	1
行政・関係機関等の取り組みの指標	6	66.7%	4	—	2	2	1	1	—
(周産期班) 2. すべての赤ちゃんが元気に生まれ育つ	14	71.4%	10	1	1	8	4	7	0
保健水準の指標	4	75.0%	3	—	—	3	1	—	—
住民自らの行動の指標	3	100.0%	3	1	—	2	—	4	—
行政・関係機関等の取り組みの指標	7	57.1%	4	—	1	3	3	3	—
(育児不安・子供の心班) 3. のびのびと心豊かな子どもが育つ	9	77.8%	7	0	3	4	2	5	1
保健水準の指標	1	0.0%	0	—	—	—	1	2	—
住民自らの行動の指標	3	100.0%	3	—	1	2	—	2	—
行政・関係機関等の取り組みの指標	5	80.0%	4	—	2	2	1	1	1
(子供の環境班) 4. 生まれた子供が元気にたくましく育つ	25	96.0%	24	4	5	15	1	0	0
保健水準の指標	7	100.0%	7	3	—	4	—	—	—
住民自らの行動の指標	7	100.0%	7	1	1	5	—	—	—
行政・関係機関等の取り組みの指標	11	90.9%	10	—	4	6	1	—	—
合計	62	82.3%	51	5	11	35	11	15	2

5. 健やか親子おきなわ21 全指標

(表2-3)

指標	ベースライン	中間評価	2010評価	2010年の目標	把握の方法	平成23年度専門部会による検討内容
思春期班						
【 保健水準の指標 】						
1-1	10代の人工妊娠中絶実施率	(’00) 県9.5% (全国12.1%)	(’04) 県7.2% (全国10.5%)	(’09) 県7.2% (全国7.1%)	減少へ	(’00)平成13年度母体保護統計 (’04, ’09)衛生行政報告例
1-2	性感染症の定点情報での10代割合	(’00) 19% (全国13%)	(’04) 11% (全国11%)	(’09) 20% (全国9%)	減少へ	(’00, ’04)エイズ・性感染症の現状と予防 (’09) 医務課資料
1-4	不登校の子どもの数・引きこもりの相談件数	(’00) 不登校の子どもの数 2,130人	(’04) 不登校の子どもの数 1,439人	(’09) 不登校の子どもの数 1,742人 (’08) 引きこもりの相談ができる支援機関数 37カ所	減少傾向	・教育庁義務教育課資料 ・精神保健福祉センター資料
1-5	思春期の子どもの飲酒率	(’98) 飲酒 男子8.3% 女子11.5%	(’03) 飲酒 男子10.5% 女子4.7%	(’06) 飲酒 男子4.0% 女子4.9%	減少傾向	県民健康 栄養調査 (5年に1度の調査)
	思春期の子どもの喫煙率	(’98) 喫煙 男子28.7% 女子8.7%	(’03) 喫煙 男子9.2% 女子1.6%	(’06) 喫煙 男子2.7% 女子2.4%	減少傾向	県民健康 栄養調査 (5年に1度の調査)
【 住民自らの行動の指標 】						
1-7	地域での性教育や喫煙防止教育、アルコール・薬物の有害性に関する学習会等の開催数	未調査	未調査	未調査	増加傾向	沖縄県の母子保健
1-9	太陽の家(子ども110当番の家)の設置数	(’00) 3,222カ所	(’05) 3,500カ所	(’10) 6,950件 9月末現在	増加傾向	・次世代育成支援行動計画 ・沖縄県少年育成サポートネットワーク定例会資料
1-10	「子どもが健全に集まれる場所の設置件数」(地域子ども教室)、(放課後子ども教室)	平成16年度から事業実施	(’04) 38市町村 316,611人 (地域子ども教室)	(’09) 21市町村 270,585人 (放課後子ども教室)	増加傾向	教育庁 生涯学習振興課資料
1-11	避妊法を知っている中学生の割合	(’98) 中学生37.7%	(’04) 中高生64% 中学生のみ56%	(’06) 高校生85%	100%	(’98)平成12年度沖縄県小・中・高等学校における性に関する調査研究 (’04)次世代ニーズ調査 (’06)教育庁保健体育課資料
1-12	性感染症を正確に知っている思春期の子どもの割合	(’98) 中学生 誤答が多い 高校生 良くなっている	平成18年度調査	(’06) 中学生72.4% 高校生86.9%	増加傾向	(’98)平成12年度沖縄県小・中・高等学校における性に関する調査研究 (’06)教育庁保健体育課資料
1-13	高校中退者の数	(’00) 3%(1,824人)	(’03) 2%(1,090人)	(’09) 2%(953人)	減少傾向	県立学校教育課資料
1-14	薬物乱用の有害性について正確に知っている思春期の子どもの割合	(’00) 絶対に使うべきでない 男子 小6 87.2% 中3 76.1% 高3 83.2% 女子 小6 90.2% 中3 81.6% 高3 91.2%	(’04) 中高生83%	(’09) 絶対に使うべきでない 男子 小6 91.1% 中3 85.4% 高3 87.8% 女子 小6 96.9% 中3 91.6% 高3 94.7%	増加傾向	(’00, ’09) 喫煙(たばこ)、飲酒(お酒)、薬物に関する意識調査報告書 (’04) 次世代ニーズ調査
1-16	夜間に徘徊し補導される子どもの数	(’00) 8,658人	(’04) 17,352人	(’09) 20,554人	減少傾向	沖縄県警少年課少年サポートセンター資料

指標	ベースライン	中間評価	2010評価	2010年の目標	把握の方法	平成23年度専門部会による検討内容
【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】						
1-19	学校保健委員会の設置率及び2回以上開催している割合	(’01)設置率 高校 100% 中学校 89% 小学校92.9% 特殊100%	(’04)設置率 高校 100% 中学校 90.7% 小学校93.2% 特殊100%	(’09)設置率 高校 100% (60校) 中学校 97.4% (150校) 小学校98.5% (268校) 特殊100% (16校)	増加傾向	教育庁 保健体育課資料
		(’01)2回以上開催率 高校 31.4% 中学校 35.6% 小学校43.8% 特殊50.0%	(’04)2回以上開催率 高校 68.6% 中学校 36.1% 小学校47.1% 特殊75%	(’09) 2回以上開催率 高校 95% (57校) 中学校 38% (58校) 小学校 46.5% (128校) 特殊 43.8% (7校)		
1-20	スクールカウンセラーの配置をすすめる学校数	(’01) カウンセラー 小中41校 高校6校	(’04) カウンセラー 小中108校 高校13校	(’10) カウンセラー 小中157校 高校43校	増加傾向	教育庁 義務教育課 県立学校教育課資料
1-21	「性」に関する指導を行った学校の数	未調査	(’04) 小270校(98.2%) 中152校(97.4%) 高71校(98.6%)	(’09) 小271校(99.3%) 中156校(100%) 高80校(100%)	増加傾向	「性(エイズ)教育及び薬物(喫煙・飲酒を含む)防止教育の取組み状況調査(保健体育課調べ)
1-21	薬物(喫煙・飲酒を含む)乱用防止に関する指導を行った学校の数	未調査	(’04) 小270校(93.8%) 中152校(92.9%) 高71校(98.6%)	(’09) 小260校(95.2%) 中143校(91.4%) 高76校(100%)	増加傾向	「性(エイズ)教育及び薬物(喫煙・飲酒を含む)防止教育の取組み状況調査(保健体育課調べ)
1-22	専門機関の対応窓口の設置状況	未調査	未調査	(’08) 思春期関連の相談ができる支援機関の数 42カ所	増加傾向	こころの支援機関リスト(県立総合保健福祉センター)
3-9	ふれあい体験学習を実施している市町村の数	(’00) 23/52市町村 (44.2%)	(’04) 10/52市町村 (19.2%)	(’09) 7/41市町村 (17.1%)	全市町村	沖縄県の母子保健
周産期班						
【 保健水準の指標 】						
2-1	乳児死亡率(出生千対)	(’00)4.5 (全国3.2)	(’03)2.6 (全国3.0)	(’09)2.4 (全国2.4)	全国平均以下	衛生統計年報
2-2	低体重児出生率	(’00)10.3 (全国8.6)	(’03)10.5 (全国9.1)	(’09)11.5 (全国9.6)	全国平均以下	衛生統計年報
◆	新生児死亡率(出生千対)	(’00)2.4 (全国1.8)	(’03)1.5 (全国1.7)	(’09)0.8 (全国1.2)	全国平均以下	衛生統計年報
◆	周産期死亡率(出産千対)	(’00)6.9 (全国5.8)	(’03)6.0 (全国5.3)	(’09)4.8 (全国4.2)	全国平均以下	衛生統計年報
【 住民自らの行動の指標 】						
2-3	妊娠11週以内の妊娠届け出率	(’99)72.9%	(’03)72%	(’09)84.1%	80.0%	沖縄県の母子保健
2-4	母子手帳を本人がもらう率	(’99)86.9%	未調査	(’09)90.1%	95%	(’99)小児保健協会低体重児等の出生要因調査(ベースライン) (’09)沖縄県の母子保健(直近値)※回答があった市町村のみ集計
2-5	未熟児(2,500g未満)が市町村の健診を受けている率	未調査	未調査	未熟児(2,500g未満)が市町村の健診を受けている率 乳児前期 85.2% 乳児後期 73.4% 1歳6か月 78.7% 3歳 75.8%	100%	小児保健協会 乳幼児健診データ
2-6	妊娠中の両親の喫煙率	(’00) 母親12.1% 父親60.2%	(’04) 母親10.8% 父親56.9%	(’09) 母親6.8% 父親49.8%	1%	乳幼児健康診査報告書
2-10	妊婦健診受診率(妊婦健診受診回数)	(’00) (前期) 95.5% (後期) 93.2% (平均受診率) 95.1%	(’03) (前期) 94.5% (後期) 91.7% (平均受診率) 95.7%	(’09) 妊娠期間中の健診受診回数 11.5回	12回	国保連合会資料

指標	ベースライン	中間評価	2010評価	2010年の目標	把握の方法	平成23年度専門部会による検討内容
妊婦の貧血率	(’00)	(’03)	(’09)			
◆ 前期	13.6%	13.8%	(交付税措置分の受診5回分)	減少	有所見者貧血/受診数	
後期	52.5%	55.1%	28.9%		妊婦健康診査受診状況(国保連合会資料)	
◆ 性交渉を持つべきでないとする中高生の率	未調査	(’04)52.9%	(’06)高校生 ・高校生まではしない 16.6% ・避妊を心がければ 23.4% ・お互いが納得できれば 21.3% ・考えたことはない 19.6%	80%	(’04)次世代ニーズ調査 (’06)保健体育課資料	

【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】

2-12	親子(母子)手帳交付時の保健指導の実施率(市町村数)	(’00) 50% (26/52市町村)	(’03) 69.2% (36/52市町村)	(’09) 90.2% (37/41市町村)	100.0%	沖縄県の母子保健	
2-13	総合周産期母子医療センターの設置	0カ所	(’04)1カ所	(’09)2カ所	2カ所指定される	県健康増進課資料	
2-14	不妊相談センターの設置	17年度から実施	(’05)1カ所	(’09)1カ所	1カ所	県健康増進課資料	
2-15	Drカー(車)の配置	0ヶ所		(’10)0カ所	2カ所配置される	県立病院課	
2-17	HPを開設している医療機関の数	未調査	未調査	(’10) 35カ所/53カ所 (66.0%)	増加傾向	県健康増進課調べ	
2-20	性教育に専門家を活用する学校の数	未調査	未調査	(’06) 小 41校(15.1%) 中 86校(54.9%) 高 26校(43.4%)	増加傾向	(’06)保健体育課資料	
◆	妊産婦も利用できる禁煙外来医療機関の数・割合	未調査	未調査	(’10) 妊産婦も利用できる禁煙外来医療機関 / 禁煙外来を開設している医療機関の数 32ヶ所/85ヶ所	増加傾向	・妊娠期における保健指導マニュアル【医療機関版】(妊産婦対象) ・沖縄県医師会HP	
◆	母親学級で禁煙指導を行う率 市町村	未調査	(’03) 64.3%	(’09) 12/41市町村 29.3%	100%	沖縄県の母子保健	
◆	妊産婦人口に対する就業助産師の割合(妊産婦人口10万対)	(’00) 県 2,146 (360人) 全国 2,059 (24,511人)	(’04) 県 1,931 (316人) 全国 2,274 (25,257人)	(’08) 県 1,876 (314人) 全国 2,547 (27,789人)	全国平均	・衛生行政報告例 ・地域保健事業報告 ※妊産婦人口とは妊娠届出をした数	
◆	助産師を配置する産科診療所数	(’98)50.0%	未調査	(’09)34.8% 16施設	100%	(’98)沖縄県母子保健医療実態調査報告書 (’09)医務課資料(H20看護師等業務届より)	

育児不安・子どもの心班

【 保健水準の指標 】

3-1	虐待による死亡数	(’00) 0	(’04) 1	(’09) 1	0	青少年・児童家庭課資料	
3-2	児童相談所・市町村への虐待相談件数	(’00) 県 275件 全国 17,725件	(’04) 県 353件 全国 33,408件	(’09) 県 児童相談所:435件、 市町村:693件 全国 44,211件	増加を経て減少	福祉行政報告例 (厚生労働省)	平成16年に、児童虐待防止法及び児童福祉法の改正が行われ、「市町村」も通告先に加わったので、市町村の相談件数も指標とする。

指標		ベースライン	中間評価	2010評価	2010年の目標	把握の方法	平成23年度専門部会による検討内容
3-3	子育てが楽しいと感じる親の割合	('00) 90.7% 11,890人(乳児) 88.6% 3,739人(1.6歳児) 82.7% 7,768人(3歳児)	('03) 92.0% 14,248人(乳児) 90.9% 10,170人(1.6歳児) 86.8% 11,682人(3歳児)	('09) 78.3% 11,989人(乳児) 73.4% 9,853人(1.6歳児) 67.6% 8,519人(3歳児)	増加傾向	乳幼児健康診査報告書(平成16年度より子育てについての問題項目が改訂された。)	
	子育てが大変と感じる親の割合	('00) 0.2% 30人(乳児) 0.3% 14人(1.6歳児) 0.2% 23人(3歳児)	('03) 0.1% 22人(乳児) 0.1% 15人(1.6歳児) 0.2% 32人(3歳児)	('09) 10.8% 1,664人(乳児) 14.5% 1,949人(1.6歳児) 17.0% 2,142人(3歳児)	減少傾向		

【 住民自らの行動の指標 】

◆	女性相談所における夫の暴力の相談件数	('00) 118件(25.3%) 全体466件	('03) 324件(53.8%) 全体602件	('09) 489件(59.7%) 全体819件	減少	青少年・児童家庭課資料(福祉保健行政の概要:女性相談所主訴別状況)	
◆	母乳育児の割合(3か月児)	('00)31.9%	('04)36.5%	('09)47.3%	増加	乳幼児健康診査報告書	
3-6	地域にある育児サークルの数	未調査	('04)158カ所	未調査	増加傾向	('04)ミニミニ子育て情報誌	
3-8	育児について相談相手がいる母親の割合	未調査	('04) 95.1%(乳児) 95.3%(1.6才児) 96.1%(3才児)	('09) 95.7%(乳児) 96.3%(1.6才児) 96.1%(3才児)	増加傾向		
◆	全出産数に対する10代母親の割合	('00) 県 4.0% (全国1.7%)	('04) 県 3.4% (全国1.7%)	('09) 県 2.7% (全国1.4%)	全国平均以下	沖縄県人口動態統計	

【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】

3-10	両親教育を行っている産婦人科医院の数	未調査	('03) 32カ所72.7% (母学、両親学級)	未調査	増加傾向	('03)妊産婦健康支援に関するアンケート調査	
3-11	乳幼児の健康診査に満足している者の割合	未調査	('04) 勉強になった 41.2%	3歳児健診受診後のフォロー数 ('09) 3,127人/12,677人 24.7%	増加傾向	('04)次世代育成ニーズ調査 ('09) 国保・健康増進課調べ 母数:3歳児健診受診者数 (沖縄県小児保健協会)	
3-12	育児支援に重点をおいた乳幼児健診を行っている市町村の数	未調査	('05) 38/49 (国の調査)	('09) 13/41 (県の調査)	全市町村	沖縄県の母子保健	県の調査の任意記載様式を、選択様式に変更する。
3-13	自助グループの活動を支援する保健所・市町村の数	未調査	('05)6保健所 1市町村	('09) 4市町村	増加傾向	健康増進課資料(アンケート調査)	
3-14	虐待防止ネットワークを設置する市町村の数	('01)3市	('04)17市町村	('09) 33市町村 (虐待防止ネットワーク又は要保護児童対策地域協議会)	増加傾向	青少年・児童家庭課資料	
◆	乳児健診未受診時の状況把握をする市町村の数	17年度から実施	('05) 36/49市町村 (73.5%)	('09) 33/41市町村 (80.5%)	全市町村	('05)次世代育成対策交付金事前協議書 ('09) 沖縄県の母子保健	
◆	地域子育て支援センターの設置数	('00) 11市町村 (16カ所)	('04) 21市町村 (35カ所)	('09) 23市町村 73カ所	84カ所	おきなわ子ども・子育てプラン 青少年・児童家庭課資料	
◆	乳幼児健康診査受診率			('11) 乳児一般健診 88.0% 1歳6か月児健診 86.9% 3歳児健診 80.5%		乳幼児健康診査報告書 沖縄県の母子保健	指標として追加
◆	気になる子への健診事後フォローをしている市町村数			平成23年度 専門部会より追加		県健康増進課調べ	指標として追加

指標	ベースライン	中間評価	2010評価	2010年の目標	把握の方法	平成23年度専門部会による検討内容
子どもの環境班						
【 保健水準の指標 】						
4-1	不慮の事故による死亡率 (人口10万対)	('00) 0才 5.9 1才～4才 4.5 5才～9才 0 10才～14才 1.1	('03) 0才 12.2 1才～4才 4.5 5才～9才 7.4 10才～14才 1.2	('08) 0才 0 0才～4才 3.7 5才～9才 7.1 10才～14才 3.4	半減	衛生統計年報 国勢調査
4-2	乳児のSIDS死亡率	('00) (出生10万対)89.4	('03) 0	('09) (出生10万対)11.9	0	衛生統計年報
4-3	幼児(1～4歳)の死亡率	('00) (出生10万対) 119.2	('03) (出生10万対) 73.6	('08) (出生10万対) 59.7	半減	衛生統計年報
4-4	麻疹の患者数	('00) 1,343人	('04) 16人	('09) 5人	0	感染症発生動向調査
4-5	結核(19歳以下)の患者数	('00) 5人	('04) 1人	('09) 3人	0	結核発生動向調査
4-6	小児の肥満の割合(ローレル指数160以上)	('00) 小学5年生(男) 10.3% 小学5年生(女) 6.8%	('04) 小学5年生(男) 9.1% 小学5年生(女) 6.0%	('09) 小学5年生(男) 7.5% 小学5年生(女) 5.0%	減少傾向	学校保健統計調査報告書
4-7	3歳児のう蝕有病者率	('00) 55.1%	('04) 48.6%	('09) 38.5%	30%以下	乳幼児健康診査報告書
【 住民自らの行動の指標 】						
4-11 4-12	予防接種率 (1.6歳児) ①BCG接種 ②麻疹・三種混合接種	('00) ①BCG 86.7% ②麻疹 72.2% 三種混合 63.5%	('04) ①BCG 90.7% ②麻疹 87.7% 三種混合 74.0%	('09) ①BCG 98.0% ②麻疹 87.5% 三種混合 84.4%	95% 95% 95%	乳幼児健康診査報告書
4-15	中学一年生(12歳)の持久力 (男子1500M・女子1000M走の時間)	('00) 男子470.2秒 (全国427.0)秒 女子339.9秒 (全国301.1)秒	('04) 男子446.3秒 (全国423.3)秒 女子329.2秒 (全国297.0)秒	('09) 男子455.2秒 (全国424.4)秒 女子334.6秒 (全国301.5)秒	増加傾向	児童生徒の体力・運動能力・泳力調査報告書
◆	チャイルドシートを利用している親の割合	—	('04) 乳児後期 94.9% 1才6か月 94.6% 3歳児 63.1%	('09) 乳児後期 97.1% 1才6か月 94.6% 3歳児 77.3%	100%	乳幼児健康診査報告書
◆	3歳児の22時以降に就寝する児の割合	('01)71.2%	('04)67.4%	('09)57.8%	減少傾向	乳幼児健康診査報告書
◆	3歳児の9時以降に起床する児の割合	('01)6.9%	('04)9.4%	('09)3.8%	減少傾向	乳幼児健康診査報告書
◆	朝食を毎日食べる子の割合	('00) 小学生 86.1% 中学生 78.1%	('03) 小学生 83% 中学生 76.5%	('09) 小学生 87.7% 中学生 81.4%	増加傾向	1,6歳、3歳児「乳幼児健康診査報告書」 小・中学性「児童生徒の体力・運動能力・泳力調査」
◆	3歳までにフッ化物塗布を受けたことのある者の割合	('01) 51.4%	('04) 51.2%	('09) 63.4%	70%以上	乳幼児健康診査報告書

指標	ベースライン	中間評価	2010評価	2010年の目標	把握の方法	平成23年度専門部会による検討内容
【 行政・関係機関等の取り組みの指標 】						
◆	1歳6か月健康診査時にフッ化物塗布を実施している市町村の割合	-	('04)63.5%	('09) 80.5%	90%以上	市町村及び保育所歯科保健状況調査報告書
4-20	事故防止に取り組む市町村の数	('00) 数カ所	('05) 47/49市町村 95.9%	('09) 37/41市町村 90.2%	全市町村 100%	「健やか親子21」の推進状況に関する実態調査票(市町村用)
4-23	子どものための野外イベントの数	未調査	('05) 38	('09) 96	増加傾向	教育庁 生涯学習振興課資料 (6施設(青年自然の家)の主催事業)
4-25	在宅支援訪問及び在宅支援外来療育等指導件数	('00) 訪問 52件 外来 715件	('04) 訪問 2,019件 外来 2,155件	('09) 訪問 2,098件 外来 2,447件	増加傾向	障害児(者)地域療育支援事業実施状況(障害保健福祉課の概要)
4-26	地域生活支援件数	('00) 370件	('03) 4,626件	('06) 6,550件	増加傾向	福祉保健行政の概要(障害保健福祉課)
4-27	施設一般指導件数	('00) 30件	('05) 68件	('09) 267件	増加	福祉保健行政の概要(障害保健福祉課)
4-29	地域での医療とのネットワーク会議の回数	('00) 保健所 50回	('05) 保健所 107回 訪問看護ステーション 12回	('09) 保健所 127回 ※保健所主催	増加	保健所・訪問看護ステーションへの調査
◆	都市公園の整備(1人当たり公園整備面積)	('00) 7.2㎡/人	('05) 9.1㎡/人	('09) 10.7㎡/人	12.7㎡/人	都市計画・モノレール課資料
◆	障害児が利用できる施設数 ①児童デイサービス事業所 ②短期入所事業所 ③児童居宅介護事業所 ④障害児保育	('00) 13カ所 未調査 未調査	('04) 15カ所 18カ所 93カ所 38カ所	('09) 66カ所 51カ所(注1) 176カ所(注2) ('09) 162カ所	増加傾向	福祉保健行政の概要及び担当者資料(障害保健福祉課) 青少年・児童家庭課 保育班資料
◆	医療的ケアを要する児の短期事業を行っている施設数	未調査	('04) 5施設	('10) 6施設	増加傾向	福祉保健行政の概要及び担当による調査
◆	移送サービス実施市町村数	('00) 7/52市町村 (13.4%)	('04) 9/52市町村 (17.3%)	('09) 17/41市町村 (41.5%)	増加傾向	沖縄県社会福祉協議会 データ

◆は中間評価時に追加した指標